

Lie Groups and Representation Theory Seminar
at the University of Tokyo

リー群論・表現論セミナー

- DATE July 1 (Tue), 2008, 16:30–18:00
- PLACE Room 126, Graduate School of Mathematical Sciences
- SPEAKER **Takayuki Okuda** (奥田隆幸) (University of Tokyo)
- TITLE 不変式の zeta 多項式の零点と，微分作用素の関係について
- ABSTRACT MacWilliams 変換と呼ばれる変換で不変な複素 2 変数斉次多項式に対して，zeta 多項式と呼ばれる複素 1 変数多項式を定義する． Type IV extremal と呼ばれる不変式の無限列に対し， $\deg = 0 \pmod{6}$ の場合には，対応する全ての zeta 多項式の零点が同一円周上に乗るという事が証明されているが， $\deg = 2, 4 \pmod{6}$ の場合は未解決であった．この講演では，不変式に対する微分作用素を用いて， $\deg = 4 \pmod{6}$ の場合にも全ての zeta 多項式の零点が同一円周上に乗るということを示したい．